

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成30年4月25日（水）

### 2 確認箇所

- ・地下貯水槽No.2近傍ノッチタンク
- ・プロセス主建屋北側
- ・5・6号機滞留水淡水化装置周辺

### 3 確認項目

- (1) 地下貯水槽漏えい検知孔回収水の移送状況
- (2) 5・6号機滞留水淡水化装置周辺の状況

### 4 確認結果の概要

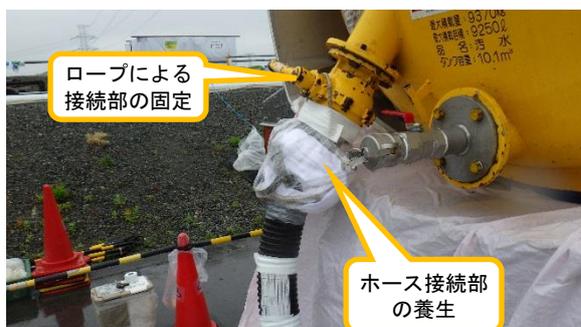
#### (1) 地下貯水槽検知孔回収水の移送状況について

平成25年4月に漏えいが確認された地下貯水槽（No.1～2）については、地下水の汚染状況を継続してモニタリングしており、サンプリング時の余剰水は回収して一旦ノッチタンクに滞留した後に建屋に移送している。

今回、地下貯水槽No.2近傍のノッチタンクに滞留している漏えい検知孔回収水をバキューム車で汲み取りプロセス主建屋に移送する作業が行われたことから、漏えい防止対策等の実施状況を確認した。

以下のような対策が講じられており、移送作業中に漏えい等の発生はなかった。

- ①バキューム車とホースの接続部の固定（写真1）
- ②ホースの激しい揺動を防止するためのロープによる固縛（写真2）
- ②ホース接続部のビニール等による養生（写真1）
- ③ホース接続部下部への仮堰及び受けパンの設置（写真2）
- ④仮設ホースの二重化（写真3）



(写真1)



(写真 2)



(写真 3)

## (2) 5・6号機滞留水淡水化装置周辺の状況

4月24日、16時55分頃に、5・6号機滞留水淡水化装置において、処理途中の水が滴下する事象が発生したことから、当該装置周辺の状況を確認した。なお、東京電力によれば、滴下箇所は装置の堰内であり、滴下部へのビニール養生及び滴下水の拭き取りを実施済みで、装置の停止により滴下は止まっている。

- ・当該装置は、Fタンクエリアの堰内に設置されているコンテナ内に格納されている。(写真4)
- ・漏れた水がコンテナの外に流出した形跡はなく、汚染の拡大はないものと判断された。



(写真 4)

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。